

経 済

防 災 ・ 消 防

農水産業の振興

長友正徳議員(無所属の会)
本市の農水産業就業人口は減少と共に就業者の高齢化も進んでいる。市は様々な対策を講じてきたが、効

果は挙がっていない。今後、農水産業就業人口の減少を防止するために、どのような方策を講じていくのか。
答 農業については、農産物のブランド化、加工販売

就業人口の減少 どう防止する
経営安定化に向けた諸策を講じる

から流通までを一体とした6次産業化の検討やPRの強化、休日や給料等に関する「家族経営協定」を推進することで経営の安定化を図り、農業人口の減少に歯止めをかけたい。水産業については、市川漁港の整備や水産業従事者の収入増につながる経営改善方策を漁協と共に検討していきたい。

大和田ポンプ場等建設工事

越川雅史議員(無所属の会)
本市の雨水排水対策の中でも、ポンプ場建設工事は一丁目一番地である。目下、大和田ポンプ場の建設工事

が進んでいるが、進捗状況と期待する効果、更にその後予定される市川南ポンプ場建設工事の見通しを問う。
答 大和田ポンプ場は、平成29年度当初の供用開始を

雨水排水対策の要 進捗と効果は
平成29年度供用開始 浸水被害が軽減

目途に、現在、地上部の建設工事を行っており、完成後は秣川排水機場の負担が軽減され、地域全体として排水状況が大幅に改善される。市川南ポンプ場は、用地の約9割が取得済みであり、両ポンプ場が完成すれば市川南地区の排水能力は現状の2・6倍となり、浸水被害は大幅に軽減される。

消防行政

青山ひろかず議員(自由民主党)
行徳地域では東部地区の開発が進んでおり、仮称妙典橋の竣工後は交通量の増加が見込まれる。また、石

油化学関連施設があり、危険物の運搬車両の往来もある。事故発生時に備えた万全の対策が必要だが、東部地区には消防施設がなく、その新設は喫緊の課題と考

行徳東部地区に消防施設の新設を
実状に即して体制を構築したい

える。市の見解を問う。
答 行徳地域に隣接する出張所等にも消防車や救急車があり、素早い対応が可能であると共に、近隣市の応援体制も強化されている。一方、救急件数は年々増加しており、今後の社会環境の変化を見極めながら、地域の実状に即した消防体制の構築に努めていきたい。

真間川周辺の減災対策

松葉雅浩議員(公明党)
平成27年9月9日から10日の豪雨により、真間川の根本橋から府中橋の北部低地域において道路等が冠水

し、床上浸水も発生した。そこで、当該地域における減災対策について、市はどのように進めるつもりか。
答 真間川と、その両側にある道路は、県が所有及び

豪雨による浸水被害 対策どうする
河川管理者である県と協議進める

管理を行っているが、27年12月県議会において、河川護岸のコンクリート構造物の穴につき現況調査を実施し、管理用通路の排水対策を検討する等の副知事の答弁があった。また、市川4丁目における新たなマンホールポンプの設置については、地域の調査と共に市と県とで協議を進めたい。

常 任 委 員 会 の 視 察

総務委員会

【日 程】
平成27年10月27日～29日
【視察地及び視察項目】
・高知市 女性の視点を生かした災害対策
・高松市 平和啓発推進事業
・徳島市 地域と協働する防災対策
【主な視察内容】
高知市は、女性職員のみで構成する検討委員会を設置し、その検討成果を防災計画や周知活動に反映させている。高松市は空襲等地域の戦争被害を語り



徳 島 市

継ぐため、平和記念館の展示等に工夫を凝らしている。徳島市は、災害時に協力する自治会や事業者の登録制度を導入し、地域の自助を促進している。

健康福祉委員会

【日 程】
平成27年11月4日～6日
【視察地及び視察項目】
・出雲市 高齢者に関する特徴的な施策
・倉敷市 子育てしやすいまちづくりに向けた先進的な取り組み
・明石市 離婚後のこども養育支援
【主な視察内容】
出雲市は、独自の体操プログラムを取り入れた介護予防策や、高齢者が高齢者を介護する世帯に対する支援を行っている。倉敷市は、子ども条例の理念



明 石 市

の下、子育てしやすい環境整備を積極的に推進している。明石市は、弁護士資格を有する職員を配置し、こどもの人権に配慮した支援を行っている。

環境文教委員会

【日 程】
平成27年11月4日～6日
【視察地及び視察項目】
・仙台市 ごみの減量・再資源化の取り組み
・秋田市 学力向上の取り組み
・大仙市 英語指導力向上事業
【主な視察内容】
仙台市は、ごみ有料化後も早朝巡回指導で不適正排出を抑制する等、更なるごみ減量化に努めている。秋田市は、基礎学力調査を毎年行くと共に、教職員



大 仙 市

の質向上のため全市一斉授業研究会等の実施にも取り組む。大仙市は、大曲中を英語教育の拠点校として取り組み、英語の教育専門監も配置している。

建設経済委員会

【日 程】
平成27年11月4日～6日
【視察地及び視察項目】
・北九州市 北九州版コンパクトシティ
・唐津市 虹の松原再生・保全事業
・福岡市 福岡市東部水処理センター
【主な視察内容】
北九州市は、街なか重視のコンパクトなまちづくりを推進し、様々な施策を総合的に展開している。唐津市は、地域の住民や企業等と協働で松原内の広



福岡市東部水処理センター

葉樹の伐採やマツ過密林の除伐等を行っている。福岡市は、下水処理水をトイレの洗浄用水等として有効利用するための再生処理施設を整備している。

「百条委員会」委員長から議会に中間報告

政務活動費等により切手を大量に購入した議員の調査に関する特別委員会

12月定例会では、12月11日の本会議において、「政務活動費等により切手を大量に購入した議員の調査に関する特別委員会(百条委員会)」の松井努委員長から審査経過につき中間報告がなされました。委員長からは、10月以降に開催された委員会において、小泉文人議員、松永鉄兵議員及び青山ひろかず議員の3名に対し証人尋問を行い、湯浅止子議員及びかつまた竜大議員の2名を参考人として招致したことが、関係者に対し更に記録の提出を求めたこと、また、調査事項を追加する決議案が提出・可決されたこと、後日同決議について再審査のための招集請求がなされ、再審査に付すこと及び同決議の撤回について可決したこと等の報告がなされました。

東京外郭環状道路特別委員会

国などからの説明に対し各議員が質疑

東京外郭環状道路特別委員会を平成27年10月23日に開催し、国等の事業者を招き、外環道路に関する審査を行いました。委員会では、供用開始後の環境監視計画等について説明を受けた後、各委員から、29年度末の供用開始は計画通り可能か、また外環道路から第一交差点(外環道路から出て1つ目の交差点)までの用地取得の状況等について質疑を行いました。これに対し、事業者からは、全区間において慎重に工程を確認しながら29年度の開通に向け最大限努力すること、また第一交差点については対象の20路線中13路線が取得済みであり、残り7路線も鋭意手続きを進めている等の答弁がなされました。